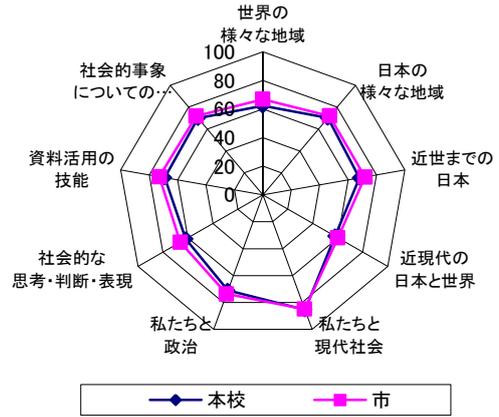


宇都宮市立鬼怒中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	世界の様々な地域	62.3	66.8	54.1
	日本の様々な地域	70.1	72.1	63.4
	近世までの日本	68.1	72.0	62.0
	近現代の日本と世界	57.8	60.0	55.2
	私たちと現代社会	85.4	85.0	73.0
	私たちと政治	71.1	73.7	71.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	61.7	66.1	52.0
	資料活用の技能	69.1	72.8	63.0
	社会的な事象についての知識・理解	69.9	72.0	64.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域		本年度の状況	今後の指導の重点
地理	世界の様々な地域	<ul style="list-style-type: none"> ●領域では市平均を4.5%下回る。アジア州の人口分布に関する図の読み取りはさらに6.7%と大きく下回り、資料活用の技能が低い。 ●イギリスの貿易相手国の変化の理由について考えるでは、市平均を下回ってはいるが、1.7%で昨年より向上している。社会的な思考・判断・表現を問う問題への苦手意識が薄れていると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解の向上は見られたが、資料活用の技能は不十分である。基礎的な事項の定着を図るため、地図やグラフ、図表などの資料から読み取ったことをもとに理解させる学習を工夫する。 ・資料の種類による特徴や読み取れることを分からせ、読み取りのスキルを身に付けさせる機会を多くの場面で取り入れていく。 ・資料集や地図帳を活用しいくつかの事象を関連させて考える力をつけたい。
	日本の様々な地域	<ul style="list-style-type: none"> ●領域では市平均を2.0%下回る。中京工業地帯についてのグラフの読み取りは7.6%と大きく下回っている。 ○主な自然災害についての知識・理解は、市平均より1.5%下回っただけで、北陸地方で見られる地場産業についての理解は、0.9%上回った。知識・理解の向上が見られた。 	
歴史	近世までの日本	<ul style="list-style-type: none"> ●領域では市平均を3.9%下回る。寺子屋の理解や、江戸時代の農業の発達の背景の説明は約10%市平均を下回っている。 ○仮名文字についての理解は8.6%上回っており、理解の定着にむらがあると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野に比べ、歴史的分野は重要語句が分かりやすく、基礎的な知識の習得に大変よく取り組み、正答率も向上した。しかし定着にむらが見られるため、定期テストやワークなどの結果を検討し補充学習をしていきたい。 ・事象の原因や背景、他の事象への影響などを考えることは難しいという意識が先立ち、敬遠されがちである。年表を活用したり、事象のつながりを意識させる教材を活用したい。
	近現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ●領域では市平均を2.2%下回る。日本の産業革命が貿易に与えた影響を考えるや、朝鮮戦争の影響についての理解は約3%下回る。 ○冷たい戦争と世界の動きについての理解は市平均とほぼ同じである。3年で学習した内容で、1・2年での内容より正答率が高かった。 	
公民	私たちと現代社会	<ul style="list-style-type: none"> ○領域では市平均を0.4%上回る。対立・合意・効率・公正についての理解は、市平均を2.6%上回った。現代社会への興味・関心が高い生徒が多く、学習も意欲的だった。 ●情報化の進展に関する資料の読み取りは1.7%下回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題、日々のニュースに関心を持っていたため公民学習へはスムーズに取り組むことができた。興味・関心で終わらないよう、原因や理由、目的などを考えさせ、人権、法令、制度、社会の仕組みなど、基礎的な事項を正しく理解させたい。 ・自らの意見・考えをもつためにも、意見を交換することは重要である。様々な集団や方法で話し合い活動を多く取り入れたい。 ・憲法や法令は日常的に使われない難解な語句が多いため、苦手意識を持ちやすい。理解しやすい語句に置き換え、何度も触れさせることで、慣れさせたい。
	私たちと政治	<ul style="list-style-type: none"> ●領域では市平均を2.6%下回る。国会と内閣との関係の理解が約12%、基本的人権の尊重について考えるが約8%と大きく下回った。現代政治の学習では特に法令に係わる内容は苦手意識が先立った。 ○環境アセスメントの理解は16.3%、フランス人権宣言の理解が2.1%上回った。 	